

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



University
of Victoria

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) y.w
所属 (School) 現代システム科学域
環境システム学類
学年 (Grade) 2
留学先 (Name of overseas institution)
ビクトリア大学
留学期間 (study abroad period)
2020/8/31~2020/9/25

留学レポート Study Abroad Report

まず、私がこのプログラムがあることを知ったのは大学のポータルサイトを見たときでした。新型コロナウイルスの感染が広がり、家で過ごす時間が多くなっている私にとってこのプログラムはうってつけのように思えました。もともと海外に留学してみたいという気持ちは持っていたのですが、いきなり行くのは不安でもあるしその練習にもなるのではないかと思い参加を決意しました。

私はこれまでに留学した経験がなく、このようなオンラインプログラムにも参加したことがなかったのでプログラムが始まる前には不安だらけの状態でした。特に私の大学の授業では使ったことのない"moodle"を使用したので、使用方法が全く分からず何度となく市大のこのプログラムを担当しておられるジェームスさんにメールで連絡を取りました。つたない英語で文章を送ったにも関わらず、迅速な対応をしていただいたジェームスさんには心より感謝しています。こういったオンラインプログラムでは、ネット環境など技術的にわからないことが1つや2つは必ず出てくると思うので、そのような際には勇気をもって誰かを頼ることも時には重要であると思います。

私が参加したプログラムは私の大学の英語の授業に似た内容でした。週3回同期型のズームセッションがあり、それ以外に非同期型の課題が週7時間分ほど課されました。このプログラムは4週に渡って行われ、各週ごとに到達目標とその週に話し合う議題が決められていました。(例えば1週目はボランティア活動のメリットとデメリットなど) また、ズームセッションでスピーキングの能力を鍛えることにとどまらず、非同期型の授業では文法やリーディング、リスニング、ライティングも行いました。文法を学んでからその用法を使ってズームの授業でスピーキングを行うなど非同期型の授業と同期型の授業の内容がリンクしていたので、英語力を総合的に高められるように工夫されていると感じました。ライティングでは実際にボランティア活動に参加すると仮定して、その応募用紙を作成するなど実際の留学や海外生活で役立つようなスキルも身に付けることができました。リーディングやリスニングでは文法や読解力の向上はもちろん、自分の視点にはないような様々な視点を得ることができました。例えば、ボランティア活動は人の役に立つためにするものと思われがちですが、自分の心身の健康を維持したり、志を同じくした友達を手に入れたりすることができるという自分自身へのメリットもあります。このように様々な新しいものの見方ができるようになったこともよかった点だと思っています。そのほか授業外でも授業を受講している受講生と英語でコミュニケーションをとる"Café social"が週に1回用意されています。私は時間が私用と重なっているため参加することができませんでしたが、自分の好きな映画や音楽などを受講生とシェアすることができます。

ズームセッションの授業に関して、私は一番初めの授業で先生が何度も言った言葉が今でも強く印象に残っています。初めの授業では受講生皆が緊張しており、先生の問いかけに対して誰も言葉を発さないという状況が起きました。そこで先生が何度も言った言葉が"Everyone makes mistakes"でとても印象深い言葉です。先生は誰でもミスをするし間違えることはあるけれど、間違えることを恐れてはいけません。何度も話し、間違えることによって英語は上達するんだとおっしゃいました。その言葉によって私を含む受講生は勇気を出して発言することができるようになりました。そのほかにも先生は時折ジョークを挟んで私たちの緊張を和らげてくれました。また、発言した内容が間違っていたときは優しくフォローしてくれました。誰かが言ったことを自分の言葉に言い換える"reported speech"の内容がおそらくクラスの中で自分だけがわかっておらず、間違った文章を発表したことがありました。そのとき先生はクラス全体のセッションの時間であったにも関わらず、私のために60分のうちの10分という貴重な時間を割き、私が理解できるようになるまで様々なわかりやすい例を用いて説明してくれました。私はもともとシャイな性格でクラスでも積極的に発言するようなタイプではないのですが、先生のおかげで自ら積極的に発言したり意見を述べたりすることが少しはでき

